RI DISTRICT
第2500地区 第8分区
JAPAN CHARTERED

ROTARY CLUB OF TESHIKAGA HOKKAIDO JAPAN

弟子屈
ロータリークラブ
Weekly Report

2009-10年度 第46回 例会
通算 2649回

■RI会長：ジョン・ケニー　■2650地区ガバナー：山本　信男

《2009～2010年度　弟子屈ＲＣ理事･役員》

会　長（理事）今井　正蔵	会　計（理事）　三坂　勝雄	国際奉仕（理事）小林 寿男
会長ｴﾚｸﾄ（理事）今井　善昭	直前会長（理事）筒井　庄一	会場監督（理事）万代 重則
副 会 長（理事）桐木　茂雄	職業奉仕（理事）鈴木　幸栄	地区
幹　事（理事）　竹森　英彦	社会奉仕（理事）林　隆雄	ロータリーの友委員　小家山　勝

2010年6月9日（水）

●開会点鐘（12：30）
●ロータリーソング
「奉仕の理想」

●食事

●会長報告
●幹事報告
●委員会報告

◎次年度指針発表

●寄付報告
●出席報告
●閉会点鐘

◆今後の予定

6/23（水）18：30
＊本年度総括（各委員長）
＊会長幹事慰労会（親睦）
6/30（水）12：30
＊本年度総括
（会長・幹事）
＊G公式訪問に向けての協議会

本日寄付小計
ニコニコ　¥
財団　¥
米山　¥

◆寄付累計

ニコニコBOX	¥361,500
財団BOX	¥10,000
米山奨学会BOX	¥10,000

◆会長報告（今井正蔵君）

1,教育委員会及び昭栄小学校からグリーンタッチ事業へ協力への礼状

◆幹事報告（竹森英彦君）

1,根室ロータリークラブ会報(回覧)
2.口蹄疫被害救援支援金(承認)

◆次年度に向けて　指針発表◇

久しぶりに嶋田稔君が来てくれました。5月は胆石で1週間ほど入院されていたようでガバナー公式訪問時は検査があり不参加とのこと。次の出会いを楽しみにしましょう。

今井善昭次期会長より指針発表;
「伝統的な慣習のすべてを見直し、明らかにもっと良い別の方法があれば、新しい伝統を始めるべきだ。」というRI会長レイ･クリンギンスミス氏の言葉に呼応し「半世紀の歴史と新しき時代性の融和」というテーマを掲げます。半世紀以上の伝統を持つ弟子屈RCですが、クラブのすばらしい伝統と活動と新しい時代性を生かしたネットや印刷媒体で地域広報を行い地域の方々がロータリー活動を認識、入会に繋がっていくようにします。クラブ奉仕では新たな試みとして1,体験型例会の導入　2,文化的親睦活動　3,広報の充実を目指します。四大奉仕が等しく重要でありるとい考えに基づき「個々の組織、地域、世界」へのバランスを持った奉仕を目指します。職業奉仕倫理を広め地域の職業倫理を高め、また、継続ではなく新しい分野への社会奉仕活動もバランスの構築の一つです。固定化された団体への寄付ではなく「弟子屈賞」(弟子屈ロータリークラブ主催)の創設を行いスポーツ及び文化(芸術、音楽)において弟子屈を広く知らしめる成績を残した者を顕彰する事業も行います。また財団への寄付、米山への寄付を推進。世界への貢献も致しますが、同時に地域補助金を活用し地域への環流を行います。本年度は地域社会弱者である身障者福祉に挑戦します。障害者との川下り･陶芸体験など地域の特色を活かした活動を行います。
あくまで目標ではありますががんばって奉仕を推進したいと考えています。しかし、まずは足元です。会員が「自らの職業倫理を見直す。」そんな原点からこ始めるべきかもしれないと自らを戒めて出発するつもりです。

小林寿男次期奉仕プロジェクト委員長　指針発表;
当クラブに正式にCLP方式を取り入れてから、本年度で2年目を迎えた。奉仕プロジェクト委員会は、「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の三委員会の調整役として、委員会活動の推進を図るとともに、今年度の会長クラブ運営方針の理念に基づき、次の項目を重点に活動を行う。1. 職業奉仕の理念を会員相互に高める。2. 人間は地球に生かされていることを再認識し自然環境に奉仕する。3. 地域における新しい分野への奉仕活動を展開する。
4.　スポーツ及び文化活動の分野ですぐれた活躍の団体、 個人に対し「弟子屈賞（仮）」を創設、 顕彰を行う。
5.　国際交流や国際奉仕活動に積極的に参加する

木暮敏男次期会員組織委員長　指針発表；RC の地区運営の信条として、「職業倫理を育み、地域社会にロータリーを生かそう」とあります。会員組織委員会は、クラブ創立の原点に想いを新たにし、次の３つの強化を計ります。1) 主体的で魅力あるクラブを創るため、例会のあり方、出席率の向上等に充実した活動の実践に努めてまいります。2) 新人の会員のために、定期的に「ロータリーの網領」の勉強会を行います。3) クラブの役割の重要性を理解し、強化してまいります本年度より会報を IT を用いたウェブ上で公開。弟子屈 RC の会員をはじめ地区の各クラブとのより緊密な連携を深めます。また、当クラブの活動をホームページ上で公開することにより、地域住民へのロータリー理解を広げるよう努力します。会報の内容は、「読んで楽しい」「保存に値する」ことを心がけ、会報のプリントやウェブでの保存も、なるべく経費のかからない方法を研究いたします。

鈴木幸栄次期社会奉仕委員長　指針発表；１、方針及び理念
（１）基本的な姿勢として、ロータリアンである前に、人間としての資質を持つことである。
（２）社会奉仕委員会は、ロータリアンとして自覚を持つことで他の奉仕委員会と重複を協同できる。
２、活動と内容　（１）人間尊重と協同奉仕　ア）地域社会の治安理解と協力（防犯、防災、交通安全等）イ）障害のある方々への理解と支援　ウ）子育て支援制度への理解と協力　エ）募金活動（年末家族会、災害支援協力等）（２）地域発展ア）高校生就業体験学習の理解と受け入れ協力　イ）早朝ラジオ体操会実施ウ）スポーツ文化活動への支援（弟子屈賞〔仮〕・ロータリー文庫、少年団活動等）（３）環境保全ア）環境保全活動（植樹・啓蒙等）　イ）清掃美化活動（クリーンウォーク・神社等）（４）新世代ア）ライラセミナー既参加者体験交流　イ）期待と祝福（成人式記念写真の贈呈）

◆出席報告（木暮敏男君）

会員数	19名
出席数	16名
出席率	84.2%

●例会：毎週水曜日　12時30分/ホテル摩周　●事務局：〒088-3203弟子屈町湯の島2丁目3-22/ホテル摩周内
●TEL015-482-2141　FAX015-482-2142

責任編集　弟子屈RC会報委員会　●会報委員長　今井善昭　●委員　木暮敏男　小林寿男